

学校図書館講座を開催しました。 ～「幼稚園・小学校」講座「中学校・高等学校」講座～

県立図書館

「学校図書館」を利活用！

学習指導要領改訂「主体的・対話的で深い学び」

学習指導要領の改訂に伴い、学習の場には「主体的・対話的で深い学び」が求められています。

学校図書館がその学びの拠点として、これまで以上に利活用されることを目指して、学校職員を対象に「学校図書館講座」を開催しました。

【幼稚園・小学校講座】

7月28日（水）～7月30日（金） 28人参加

【中学校・高等学校講座】

8月4日（水）～8月6日（金） 20人参加

「幼稚園・小学校講座」の様子

【情報交換】



【破本修理の講義】



【図書館設営の工夫の講義】



他には「読書指導充実のための手立て」や「学校図書館の空間づくり」「ブックトークの方法と実際」「図書館運営上の課題と改善策」など、第4次鹿児島県子ども読書活動推進計画に沿った講義等を行いました。

「中学校・高等学校講座」の様子

【開講式の様子】



【ビブリオバトルの実習】



【レファレンスインタビューの実習】



他には「図書館を学校の中核に」、「学校図書館とPDCA」、「情報活用能力とは」などの講義等が行われました。

参加者の声（一部抜粋）

子供たちが「読書が楽しい」と思ってくれるようなきっかけや仕掛けを図書館司書と連携しながら取り組んでいきたい。

この講座が、自分の悩みの解決につながった。実情に即した様々な講義や実習は学校に持ち帰り、図書館司書と話をし、図書館運営や読書センター、学習センター、情報センターの意義を生かしていきたい。

今年度は感染症対策を講じる中での研修でしたが「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に資する役割が一層期待されている「学校図書館の在り方」について十分に研修を行うことができたようです。